

2023年4月度 幹事会報告

開催日：3月28日

I. はじめに

- ・奈良県との協定は現協定内容をそのまま3年間更新した。今一度協定内容を再確認し、景観整備に齟齬をきたすことのないように。

II. 会計・総務部より

- ・会員動向：入会2名 会員数151名
- ・会計：月次収支の内容に加えて

2022年度集計概要報告

III. 活動・行事関係

*ならやまプロジェクト関係

- ・BC周辺の草刈りは観察会終了まで禁止
- ・チップパー機の軽トラからの積み下ろしは危険を伴うため適格者を決めて安全に対応する
- ・4月より賄い(味噌汁)は休止する
- ・終礼時に各G持ち回りで振り返りの話をする
- ・活動予定に糶まき日(4/20)を記載する
- ・組織体制、機器使用者登録見直し4/10まで
- ・奈良県との協定更新(3年間)

*イベント関係

- ・3/30 新入会員歓迎会
- ・2023年度イベント担当・担当者確認
- ・「山の日川の日」イベントガイドブック掲載内容について：7月のみとし、カレー飯盒炊爨を含めた一日とする
- ・ジュニア自然大学対象イベント：「里山」をテーマに一日。3月30日下見来訪打ち合わせ。

IV. 企画、助成金事業案件

- ・2024年度申請検討中

V. 特定議題

- ・総会：5/20(土)13:00~15:00 各Gからの活動状況の説明を中心に簡潔に進めたい
- 懇親会は16:00~18:00

VI. 広報関係

- ・ネイチャーなら5月号編集内容について説明

VII. 報告・連絡事項、その他

- ・月例研修会4/18 自然教室4/6 以上



JR奈良線のガード下をくぐると、ビオが見える。4月になってカエルの合唱が始まり、ムラサキサギゴケが咲いて賑やかになった。

最近、ビオエリアは見た目にはきれいに安全になった。でも、異変に気がついた。シュレーゲルガエルが減った。植物の種類が変わったし、昆虫も減ったようだ。いろんな意見を聞いた。「人にとって都合の良い環境は他の生物にとって住みやすくはない」、「人が作った物には角がある」、「ならやまは公園ではない」、等々。

ビオ班は「人が作った角が取れて、自然と一体となった丸みのある、生物にやさしいビオ」を目指すそうだ。試行錯誤の日々は続く。次は何が起きるのか、楽しみだ。

6月ならやま活動&行事予告

*ならやま活動 6/1 協働活動日

6/8 田植え予定

6/22 春の感謝祭予定

*例.研 6/13(火) 葉草の里と宇陀松山城

*自.教(未定) 佐保台小 放課後子供教室

会員動向(敬称略)

<入会者> 4/1 清原 加代子

三船 光一・和田 陽子

4/13 辻窪 有紀

<退会者> 3/31

岡田 安弘・岡田 高志

大澤 教男・衣笠 博美

高須 良子・越智 健介

発行：奈良・人と自然の会

URL : <http://www.naranature.com>

編集代表 Mail: editor@naranature.com

編集委員：青木(幸)・青木(芳)・尾崎

千載・田中(善)・戸田・豊田

表紙写真：端午の節句に向けて、鈴木顧問の指導による作品です。